backlog by nulab

IT・通信

「業務管理」から変えるITガバナンス

タスク管理を「監査証跡」に変えるインフラ戦略

アカウント管理とシャドーITに、経営はどう備えるか



退職者アカウント、委託先アクセス、シャドーITが経営課題化する背景

外部パートナーとの情報共有でリスクを感じたことがある割合

退職・異動したメンバーや、プロジェクト終了後の外部パートナーのアカウントが残っていたことがある **28%**

外部パートナーに、本来は開示すべきでない情報が閲覧できる状態になっていたことがある **19%**

課題 01



増え続ける管理対象ツール

社内利用するツールやサービスは年々増加。しかし、誰が何にアクセスできるかは一元的に把握できていない。

課題 02



シャドーITの蔓延

承認を経ずに現場が使い始めたツールや個人アカウントは、意図せぬ情報漏えいリスクにつながることも。

課題 03



見落とされやすい外部委託リスク

委託先の管理を個人任せにしていると、契約終了後も権限が付与されたままになるケースがある。

【アンケート調査】
「仕事に関するアンケート」（調査実施：2026年6月）本項の調査データは、勤務先業種を「IT・通信業」と回答した人（n数＝100）が対象

©2026 Nulab Inc. All Rights Reserved.

セキュリティ・ガバナンス課題が招く経営リスク

勤務先で過去のトラブル対応や改善の記録を、
必要なときにすぐ見返せる状態になっているか。

「探しにくい」
「見返せない」 **76%**

リスク 01



「意図せぬ機密データ流出」の引き金が残る

情報共有が複数のツールに分散し、
アクセス権の管理リソースが増大。
中央が組織全体像を統制できない状態
は、機密データ流出のリスクをはらむ。

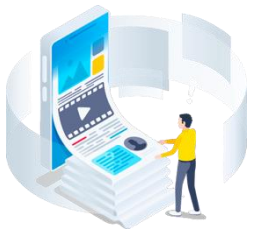
リスク 02



証跡が追えずに ISMS認証失効も

未承認ツールの相談や是正案の検討
経緯がチャットやメールに分散。
ISMS更新や外部監査時に証跡を
提示できず、認証失効を招く。

リスク 03



「管理措置を怠った」最悪のケース＝法的責任

ツールの増加やシャドーITの蔓延が
進むと、権限変更の履歴が一元管理で
きない。インシデント発生により
法的責任を問われることも。

アカウント管理、情報へのアクセス、判断履歴。
これら3つが日々の「業務管理」から切り離されて分散していること自体が経営リスクの本質です。

【アンケート調査】
「仕事に関するアンケート」（調査実施：2026年6月）本項の調査データは、勤務先業種を「IT・通信業」と回答した人（n数＝100）が対象

©2026 Nulab Inc. All Rights Reserved.

アクセス権限や利用状況が見えなくなる理由

管理対象ツールの増加、シャドーIT、外部委託先のアクセス権限に関する課題の根本は、
ツール・人・権限・確認履歴を業務単位で紐づけて管理できていない構造にあります。

原因 01

アカウントと権限がツールごとに分断している

部門ごとにツール導入が進むと、利用者・権限・目的がツール内に閉じ、退職・異動時も誰が何にアクセスできるか把握しにくくなる。

原因 02

承認ルールと現場の作業環境がかみ合っていない

承認済みツールでは社外連絡や進捗確認が進めにくいと感じると、現場は業務を止めないように個人アカウントや未承認ツールを使いがち。

原因 03

委託先管理がプロジェクト終了と連動していない

委託先の招待・権限付与・削除が担当者任せになると、契約終了後もアカウントや過剰権限が残り、後から経緯の説明が難しくなる。

©2026 Nulab Inc. All Rights Reserved.

ルールを増やさず、ITガバナンスを機能させる業務管理の設計

現場に二重の報告を課すルールは形骸化し、シャドーITを加速させます。
日々の業務フローの中で自然に機能する状態をつくることこそが、実効性のあるガバナンスの姿です。

基本 01	情報流出対策	**「共有範囲」の可視化と全社共通化** 外部連携やツール利用を現場任せにせず、全社で統一された「共通スペース」に情報共有を一元集約する。	意図せぬ機密データ流出を構造的に防ぐインフラを整える
基本 02	シャドーIT対策	**柔軟性の高い「共通の作業環境」の提供** あらかじめ社内外の連携がスムーズに行える高機能な共通インフラを経営主導で配備する。	現場が「使いやすいから」と未承認ツールに走る（シャドーIT化する）のを防ぐ
基本 03	アカウント管理対策	**「アカウント削除」のタスク化と監査体制** 退職や委託終了にともなう権限変更を単なるセキュリティ作業にせず、「期限と担当者が明確なタスク」として業務フローに組み込む。	削除漏れをゼロにし、法的責任のリスクを確実に防ぐ

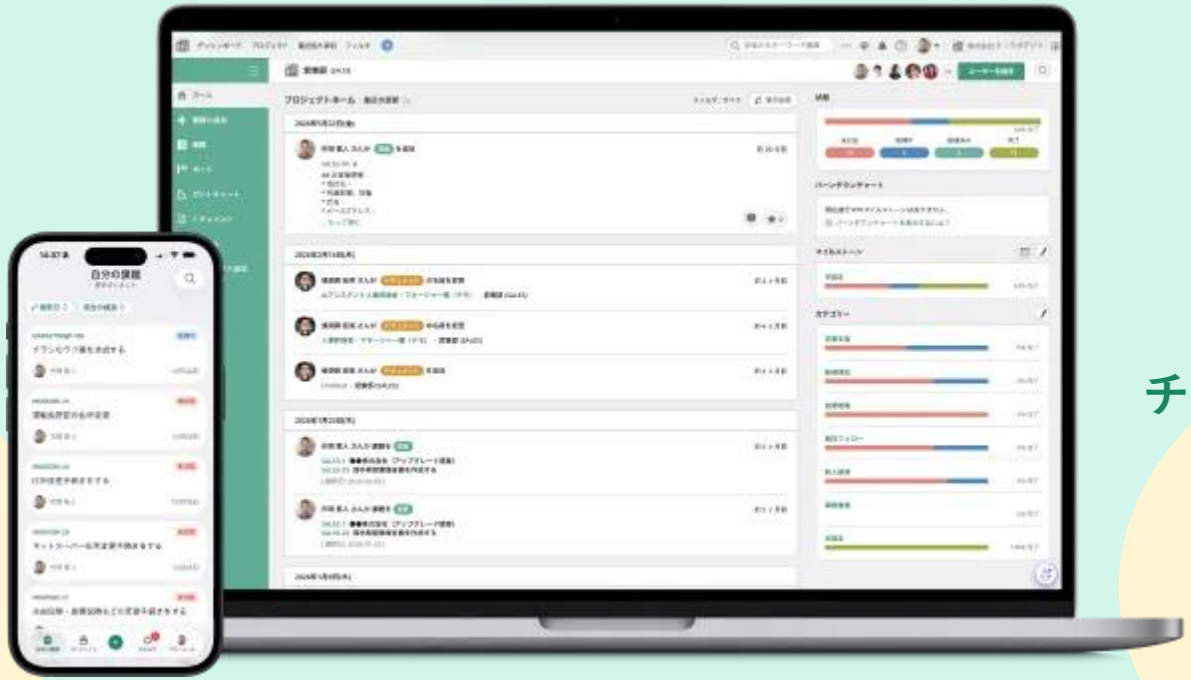
©2026 Nulab Inc. All Rights Reserved.

ガバナンスと現場の生産性を両立させる「Backlog」とは

Backlogは、「案件管理・資料共有・やり取り」を一元化できる、プロジェクト・タスク管理ツールです。

日々発生する業務を管理

- 業務・指示の記録
- ベンダーへの依頼・確認
- 未承認ツールの是正対応
- ISMS指摘事項の対応管理



backlog by nulab

チームで進めやすくなること

- 進捗の可視化
- データ共有の一元化
- 完了確認
- 報告・証跡の整理

©2026 Nulab Inc. All Rights Reserved.

【課題管理機能】あらゆる作業を「タスク化」し、対応漏れをゼロに

退職者や委託終了にともなうアカウント削除、未承認ツール（シャドーIT）の是正指示をはじめ、
日常業務で発生するタスクを「**期限・担当者付きの課題（チケット）**」として起票・管理します。



種別	件名	担当者	状態	登録日	開始日	期限日
タスク	未承認ツール使用者への是正指示・廃止対応	松下　毅	処理済み	2026/08/21	2026/09/11	2026/09/11
タスク	サイト要件定義・ページ構成の確定	今宮 晃	処理中	2026/08/21	2026/09/04	2026/09/04
タスク	シャドーIT実態調査（未承認ツール棚卸し）	今宮 晃	未対応	2026/08/21	2026/09/04	2026/09/04
タスク	委託終了者のアクセス権限剥奪・アカウント削除	村松 華丸	処理中	2026/08/21	2026/08/28	2026/08/28
タスク	退職者アカウント削除対応（社内システム・SaaS全般）	城島 あゆみ	処理中	2026/08/21	2026/08/28	2026/08/28
タスク	サイト公開前の動作確認・最終チェック	村松 華丸	未対応	2026/08/21		2026/09/25
タスク	デザインカンプ・ワイヤーフレーム作成	松下　毅	未対応	2026/08/21		2026/09/18
タスク	開発環境セキュリティパッチ適用	村松 華丸	未対応	2026/08/21		2026/09/04

©2026 Nulab Inc. All Rights Reserved.

【プロジェクト・メンバー管理機能】「共有範囲」を可視化・制限する

社内外のメンバーや外部ベンダーを、**業務プロジェクト単位で明確に区分けして招待・管理**します。



©2026 Nulab Inc. All Rights Reserved.

【コメント・ファイル共有】日常業務の中で「判断の証跡」を蓄積する

作業や不具合対応に関する議論や判断理由を、タスク内のコメント欄に直接記録。
メールやチャットを遡ることなく、やり取りの経緯を残せます。



コメント

タスクに紐づけてコメントを残せる

- 経緯や判断理由をやり取りごと残せる
- 関連ファイルの添付も可能



ファイル

プロジェクトごとにファイル格納

- PDF、画像、エクセル／ワードファイル等を格納可能
- 格納場所を一元化することで情報の散在を防止

©2026 Nulab Inc. All Rights Reserved.

IT分野でのBacklog活用シーン①

Backlogは、日々の業務、やり取り、ファイル、議事録などのドキュメントを管理できるだけではありません

活用パターン 01 退職者・異動者アカウントの棚卸し

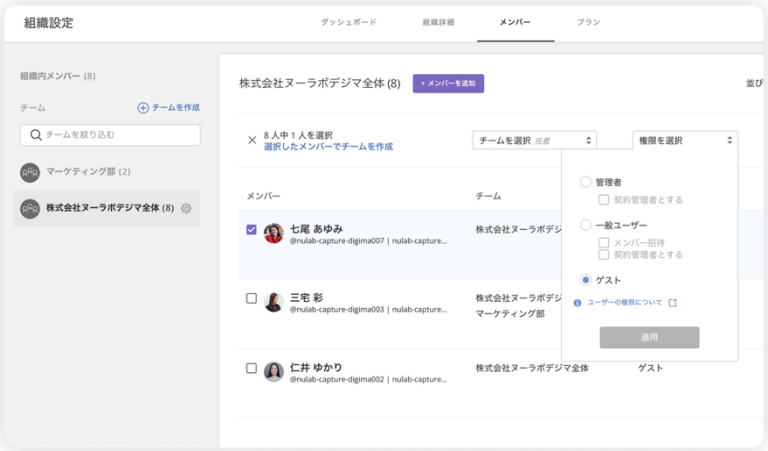
退職者・異動者アカウントの棚卸しをタスクとして起票し、
対象者・対象システム・確認担当・期限・完了証跡を一覧で管理

件名	担当者	状態	期限日
【作成申請】アカウント作成対応（販売管理システム）	城島 あゆみ	完了	2026/08/20
【削除申請】退職者アカウント削除対応（SNS）	今宮 晃	処理中	2026/08/24
【棚卸し】アカウント棚卸し（営業支援ツール）	村松 華丸	処理済み	2026/08/20
【棚卸し】アカウント棚卸し（社内ツール）	松下　毅	未対応	2026/08/31

**対応状況がリアルタイムで確認できるため、
棚卸し漏れを防ぎやすい**

活用パターン 02 委託先アクセス権限の定期見直し

業務プロジェクト単位でプロジェクトを作り、
委託先メンバーをゲストユーザーとして招待する



契約終了時にプロジェクトから外すだけでアクセスを遮断できる

©2026 Nulab Inc. All Rights Reserved.

IT分野でのBacklog活用シーン②

活用パターン 03 シャドーITの蔓延防止

Backlogはユーザー数無制限*のため、社内メンバーはもちろん、
外部ベンダーやゲストも追加コストなしで招待可能



**「個人のLINEやチャットツールでやり取りしよう」といった
現場の抜け道（シャドーIT化）を未然に防ぐ**

*プランにより異なります。詳細はこちらをご確認ください。

活用パターン 04 ISMS是正対応

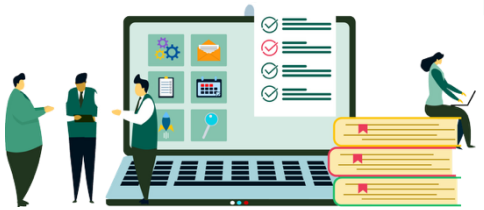
監査で指摘された事項を課題として登録し、
対応担当・期限・証跡資料・完了確認を紐づけて管理する



**次回の審査時に過去のメールや共有フォルダを必死に探すことなく
Backlogの課題を開くだけで証跡を提示できる**

©2026 Nulab Inc. All Rights Reserved.

【事例紹介】Backlogの導入でガバナンス強化につながる



導入事例01 IT・通信／システム開発・保守・運用

社内からのシステム利用申請やアカウント払い出しをBacklogで課題化し、承認、権限付与、対応ログを一元管理。外部ベンダーを含む関係者の対応履歴を残すことで、誰が何を承認し、どこまで進んだかを追いやすくしている。

＞＞詳細はこちら

導入事例02 官公庁／システム開発・保守・運用 情報システム

外部ベンダーとの問い合わせや確認事項がメール・Excelに分散し、状況把握に手間がかかっていた。Backlogにやり取りを集約し、担当者・状態・履歴を課題単位で確認できるようにすることで、複数関係者との調整を進めやすくしている。

＞＞詳細はこちら

導入事例03 金融・保険／システム開発・保守・運用

外部ベンダーとの共同開発では、情報共有のセキュリティと監査性の強化が課題だった。Backlogに情報を集約し、一部の機密情報を除くプロジェクト関連の情報共有をすべてBacklog上で行うようにしたことで、部署横断の情報共有負荷が大幅に軽減された。

＞＞詳細はこちら

導入事例一覧はこちらからご覧いただけます

©2026 Nulab Inc. All Rights Reserved.

ガバナンス改善の第一歩を、Backlogでお試しください

無料トライアルで試す
まずは使ってみる



30日間無料で試す

オンラインセミナーで学ぶ
まずは話を聞きたい



オンラインセミナー

個別相談会で相談する
相談しながら決めたい



個別相談会

©2026 Nulab Inc. All Rights Reserved.

会社概要

社名	株式会社ヌーラボ
設立	2004 年3 月
事業内容	チームのコラボレーションを促進するサービスの開発・提供 ● プロジェクト・タスク管理ツール「Backlog」 ● オンラインホワイトボードツール「Cacoo」 ● 組織の情報セキュリティ・ガバナンスを強化するツール「Nulab Pass」 ● ワークフロー自動化ツール「Nulab Flowbase」
本社	福岡県福岡市中央区天神一丁目11番1号

©2026 Nulab Inc. All Rights Reserved.